

件名	第4回松崎地区駅前活性化協議会
日時	2017年2月20日(月)19:00~21:10
場所	湯梨浜町中央公民館
出席者 (敬称略)	速水、谷口、上治、川崎、立木、岸田、北村、清水、河井 湯梨浜町役場:山根副町長、船木、湯梨浜まちづくり株式会社:川田、堂計画室:生田、 地域おこし協力隊:新田、辺(記録)
決定事項 (合意事項)	旧Aコープ跡地利用設計図(案)、工程表を作成、提示する。
次回までの 調整事項	旧Aコープ跡地利用設計図(案)の準備、工程表の作成。
配布資料	町長と語る会資料、松崎地区駅前活性化協議会次第

■議長あいさつ

(会長)今回は、第4回の協議会で、体調不良等で欠席もありますが、10名弱の出席をいただいた。欠席された方からは委任状もいただいている。本日は、重点事項の取りまとめについて皆さんと意見交換をし、いんしゅう鹿野まちづくり協議会の視察についてのご案内、また、先日実施した町長と語る会の資料について役場からご説明をいただく。

その前に、今日初めて参加された方のご紹介をする。

(オブザーバー)倉吉で小さな設計会社を営んでいる。どのような話が繰り広げられるかを聞きながら今後の設計に活かしていきたい。

(委員)旭区に住んでいます。大学卒業後県外で働いていたが、数年前にUターンした。今こども園のPTA会長もしているので、そのような目線で意見を述べて行きたいと考えている。

■重点事項のまとめ

(会長)重点事項のまとめのボリュームが大きいので、今回は「こんな意見があるよ」と言ったことを確認していきたいと思う。項目の重点化をしながら整理していきたい。

<支え合いの仕組み>

(委員)Aコープを気軽に情報交換できる場、行事が出来る場にしたい。いつも同じような発想しかないがそう思う。

(会長)委員さんからもAコープを活用したいという考えが挙がっている。役場からも、活用の提案を後ほどいただける。

(委員)常日頃、隣近所で話したり付き合うことは大事だし、大きな災害があったときにつながりが大事だと思われる。支え合いマップや名簿づくりだけではなくて、日ごろから関係を深めることが大事なのではないかと思う。

(委員)地域交流の場だけでなく、地域外の方との交流の場にしたい。ウォーキングをされる方も多いので、地域外の人も含めることで活性化すると思う。買い物、足湯を設置する、寿湯に入ったあとに食べられるスペースを設けるなどが、必要だと思う。また、ウォーキングステーションもないので、作って欲しいと思う。

(会長)ウォーキングをされる方が一呼吸をおくことも必要だと思う。

(委員)目に付くという意味では、Aコープ、駅周辺がいいと思う。

(委員)つながりを意識して意見を書いた。よどやでは(チラシ、ブログ等)色んなことを紹介されているので、活躍されている方が中心となって、もっと発信(「ここに行けば分かる」、や、

ネットを使う)出来る部分があると思う。

(会長)コミュニティとは何だ、という話が先日開かれた研修会で話題になったが、梅ややよどやのように、多世代の交流がある場が必要だと思った。また、地震の教訓もあるので、今度からよどやでプレオープンするまちづくり会社の取り組みでも、防災の機能も果たせたらと考えている。

(委員)駅周辺の活性化(A コープ等)など、コミュニティの活性化が大事だとも思うし、ネットに限らず広報をしていくことは必要だと思う。

(会長)やはりコミュニティという観点では地域のつながりは必要だと思うので、◎の事項ということにしたい。そういう点で鹿野の視察を実施できればと考えている。

<環境>

(委員)テレビや動画など、全国とまで行かずとも、関西に発信しなければ地元だけで終始してしまうので、情報発信が必要だと思う。

(会長)役場の観光情報で言うと、大山王国のサイトに行けば、お楽しみ情報の一元化がされている。そのように出来ればと思う。

(委員)町のことを知らない人が、1人やグループで町を歩かれるよりも、ボランティアが同行すれば喜ばれるし、理解が深まるのではないかと思う。

(委員)梅や、よどやなど、昔ながらの商店を押し出すような、マップを作れたらと考えている。

(会長)下駄の目印を玄関先にかけておられるが、どのようにお考えか。

(委員)私の家は、三八市の関係で、下駄を玄関に飾った。今、撤去している方もいるが、私は邪魔にもならないし飾っている。屋号が入っている。

(委員)27年より前からある家には下駄を飾ったようだ。表示の基準は分からないが、松崎の街並みを知ってもらおうという点では、昔のマップを基本として、こんな店があったよ、と言った説明書きがあればと思う。松崎の町の写真をバージョンアップして設置していてもいいのではないか、あるものを活用するのが良いと思う。

(会長)委員さんからは、全体的に美化することが必要ではないかと提案がある。

(委員)私の家に飾っている写真について色んな人に聞かれる。マップはかなり古いものを持っておられる。写真も日に焼けて大分ぼやけていて、十分に管理できていない。

(委員)商店街と住宅が混在している地域だと思うので、住んでいない建物は印象を良くしなくてはいけない。住んでいる家だけ、片方だけががんばってもいい印象にならないと思うので、管理されていない建物を店舗やスペースに活用できれば良いと思う。

(会長)鹿野では、使用していない店舗を活用されている。この項目についても、◎で取り組んでいきたい。

<イベント>

(委員)まつぎき元気まつりの開催時、部落放送もなかったなので、あのようなイベントをされるときには、広報をしたほうが良いと思う。

(会長)おそらく放送されていたと思う。今度、まちづくり会社が町に出たとき、放送を活用できるのか。

(事務局)おそらく可能。

(会長)音声告知放送が可能だと思われる。活用した呼びかけが必要だ。

(委員)イベントをもっと区長が宣伝して区の人に来てもらう。同好会にも声をかけることが必

要だと思う。個人よりもグループに声をかけをすれば来られるのではないかと思う。

(委員)ちょうど、1区の餅つきが11日から19日に変更になったが、その放送は、11日以降全くなかったので、必要だったと思う。

(会長)26日区長会で、放送の活用などを検討したい。11月12日元気まつりを再度区長会中心として開催する予定だ。

(委員)イベントを開催する際に、出店業者のメリットがないと続かないと思う。今までやってきたイベントに乗っかる形で開催できたらいいと思う。下駄卓球もベテラン卓球に便乗させれば活性化されるのではないかと思う。

(委員)関わる人への負担が増えてしまう。イベントを増やすとしても、同好会や前向きに来ていただける方の参加を促した後に、運営に関わっていただくことがスムーズだと思う。

(会長)元気まつりも区長の参加がいい形につながった。

(委員)私も出店しようと思ったが、前年の話を聞いて辞めた。

(会長)もっと伝えられれば良かった。花見地区の方もいらっしゃったし、とても良かった。イベントについても◎の重点事項として進めたい。

<自然景観>

(委員)ウォーキングの話になるが、旅行会社の協力を得てはどうかと思う。松崎地区だけでなく、羽合も含めて発信できればいい。

(委員)一番いいものが何かと考えたとき、東郷池の景色は山陰八景のひとつで、伯耆一ノ宮があり、梨どころで、グラウンド・ゴルフの発祥地など、案外いいものが見つかってアピールが出来ていくのではないかと思う。

(委員)行ってみたいくなるような動画を発信しているところがない。観光協会が出しているのは、中部全域の動画だ。湯梨浜の観光の動画を作ることが望ましい。仮に株式会社が動画を発信してドローンを活用したものなどを作られたらどうかと思う。

(会長)ドローンを活用して、ウォーキングの発信をするのはどうか。

(委員)情報発信をするために、役場のHPをどれだけ見ているか。間接的などところで写真や釣りのイベントなどで見てもらうようなイベントを絡めることが望ましい。

(会長)委員さんからは食と絡められればという声がある。松崎にとっては東郷池を活用したアイデアを検討していく必要があると思う。

<温泉>

(委員)足湯には地元の人ばかりが利用して、お客さん専用の面白い、変わった足湯を作ってはどうか。観光客でも入ってみようかなというものだ。

(委員)駅そばに足湯があればいいなと思う。めぐみの湯は駅からいるし、水明荘にあるものは屋根もないので、駅前にあつたらいいなと思う。

(委員)駅の構内に足湯を作ってはどうかという声もあった。7福神の足湯を観光協会が作っている。あれをバージョンアップして、もっとアピール出来るものを作ればいいと思う。HPを一元化したような、発信できるものがあればいいと思う。

(オブザーバー)A コープのところに足湯があればいいなと思う。湯梨浜らしさを出せばいいと思う。

(委員)足湯だけあっても立ち寄りを見込めないで、プラスアルファがあればいいと思う。A コープであれば、駐車場、建物もあるのでいいと思う。

(会長)源泉かけ流しの足湯が出来ればいい。

(委員)寿湯は湯があふれ出しているのだから、利用できると思うが。

(オブザーバー)足湯には入ったことがない。全身入れる方がいいので、何故足湯がそれほど人気なのか分からない。

(会長)湯村温泉には30メートル程の長い足湯がある。

(委員)駅の中は今までも出来なかったのだから、難しいと思う。Aコープの中に足湯を設けて駅では上手に案内できればいいと思う。めぐみの湯では温泉卵を利用する人は少ないが、Aコープで卵を売って温泉卵を作れたらと思う。

(会長)パニーニもたくさんの方が足湯を使われている。

<スポーツ>

(委員)ウォーキングのことだが、名物料理とセットにする、旅行会社に宣伝してもらうなどが出来たら良いと思う。

(委員)グラウンドゴルフとウォーキングがある。グラウンドゴルフを宿泊者が簡単にできるようにして、発祥の地であることを印象付けることができればいいと思う。団体には、グラウンドゴルフ大会をしてもらって、景品は宿が出すなどしてはどうか。ウォーキングの進捗事業をされて、委託料をもらいながら運営していくことを会社が実施すればと思う。

(委員)ノルディックウォークをされる方が、立ち寄りやすいような場所、開放できる駐車場を用意できればいい。ベテラン卓球などの、イベントにも参加することもいいと思う。

(オブザーバー)JRの友の会に参加しているが、ウォーキングと食、ウォーキングと宿泊は繋がっている。プロデューサーをよく知っているが、倉吉はウォーキングが盛んな町に入っていないと言われたので、NPO未来にはそれで良いのかとわざわざ話しに行った。ウォーキングと食べ物、温泉といったジョイントの仕方を検討しなくてはいけない。

<施設>

(委員)駅前、湖畔公園、水明荘などを会場に活用したイベントをできればいいと思う。

(委員)駅に足湯をつくるのもいいが、ロマンチックじゃない。湖畔公園には鯉が2匹いて、湖の広い視界が広がるのは魅力的なのではないかなと思う。

(会長)駐車場の問題を委員さんも挙げていて、駐車場がAコープだけでいいのか、検討しなくてはいけない。役場でも駐車場の確保などの問題を考える必要がある。どこに停めればいいのか、皆さん悩んでいる。

(委員)駅が無人だが、町の顔だし、集まる場所なので、コミュニティを作るために農産物を売るなどしてはどうか。

(委員)Aコープの活用は大きいと思うし、地域内外の方の交流の場が必要だ。仕出し屋さんが多いので、弁当食べながら色々出来るようにすれば良いと思う。

(委員)湖畔公園のあり方を見直して欲しい。立ち寄りにくい、池に柵も無く危ない。駐車場、屋根など検討したほうが良いと思う。

(委員)私も同じようなことを考えている。結局駐車場がないと聞かれるので、駐車場の整備は必要だと思う。

(オブザーバー)駐車場の件で、谷水旅館の跡地があるが、温泉が湧いてきているし、足湯がどうかという声もあるし、借り受けて観光駐車場にしてはどうかという声が上がっている。

(委員)委員病院がもっておられる。リハビリセンターでも作っていただければいいと思う。

(オブザーバー)倉信の横も活用できないかと思う。

(委員)あそこは地権者さんがもっているのが難しいと聞いている。

(会長)駅前には色んな資源があるので、活用を検討していきたい。

<人口減少>

(委員)考えがまとまらない。行政にお世話になって、企業誘致や協力をもとめて対策をしない限り、一極集中してしまう。

(委員)若い人たちに湯梨浜町のいいところ、悪いところを本気で聞いてみる必要があると思う。

(会長)つながり、活性化をすることが必要だと思う。実際、活性化してきたから、Uターンで戻ってこられた方もいらっしゃる。

(委員)仕事があればいいというわけではなく、収入がなければいけないと思う。住んで、仕事や生活があって愛着が湧くと思う。事業に参加してもらうなかで、夢を持った人に少しでも協力していただければと思う。

(会長)湯梨浜暮らし体験制度があり、ボランティアに参加していただければ宿賃はタダなので、そのような制度を活用できればいい。

(委員)いろんな制度や活動はあるものの、経済的基盤がないのに、10年後、20年後一緒に住んでもらえるか分からない。若い人が働けるような会社にしていただくことが必要だ。生活できるというカタチを作っていただきたい。

(会長)チャンスの場を創っていく必要がある。

<買い物>

(委員)A コープを再開させて、地産地消のものを扱ってもらって、買い物、交流の場を作っていただきたい。

(委員)文章に書いたりするのもいいが、地形や建物の模型を作って、考えられればいいと思った。

(会長)委員さんからは夢マートのようなものが出るといい、という意見が上がっている。

(委員)起業するにしても、現状では難しいと思う。空家の活用など、場の提供が必要だと思う。

(委員)夢マートのようにできればいい。訪れやすいということも大事だし、地元の人だけでなく広い範囲で募ればいいと思う。また、旭区には新しい家が増えているので、住んでいない土地を活用してはどうか。ナンバ医院さんが居なくなり、病院が欲しい人が多いと思うので、誘致できれば良いと思う。

(委員)確かに今、土井医院は2時間待ちで、受診するのに半日仕事だ。

<A コープ跡地>

(委員)年金暮らしの人が多く、先細りして閉鎖してしまわないかという心配もある。

(委員)母が施設に入っているが、見舞いの帰りにパープタウンに寄って覗いている。やはりA コープが買い物の場としてあればいいと思う。代替のものができればよくて、常時オープンしていればありがたいが、最初は無理なくできることから広げてもらえればと思う。

(委員)地域活性の大きなものになると思うので、グランドコンセプトをしっかりと持たせることが必要。仮で計画を組んでいるが、すり合わせをする必要があると思う。

(委員)地元の特産品の発信拠点として、ネットでの通信販売などの拠点にしてはどうかと思う。

建物は倉庫にもなるし、地元の人にも立ち寄ってもらうことを併せてできる場所になればいい。

(委員)ふるさと納税の話もあるし、委員さんの提案はとてもいいと思う。

<既存施設の活用>

(委員)まちづくり会社に古くなった廃墟など、撤去してもらえるものなど、取り組みもしていただきたい。

(委員)空き家が転々とある場合や続いている場合、状況に合わせて活用できないかなと思う。

(委員)店舗があって、地権者との調整が難しい。そこで賃貸や売買の交渉を誰がするのが大切。空き店舗については、起業移住者の店舗、移住者の住居などにできれば望ましい。

(委員)見た目の悪いものはなくすなど出来ないか、活用してみてもらうなど、見学ツアーをすればいいと思う。外から来た人に照準を当てても良いと思う。

(会長)見た目の悪いものについては、行政サイドでもっと早く対応いただければと思うが。

(事務局)個人の持ち物なので、なかなか対応することは難しい。

(委員)旭区の廃墟は通学路なので、どうにかしてもらいたい。福祉法人が管理していると聞いていて、親族が近くに居るが、役場が関与しているのでどうにも出来ないと言われた。とても危ないので、どうにかしてほしい。

<産業、商業>

(委員)団体組織幹部が集って、どのように情報発信したらいいかを話合えばいいと思う。

(委員)各団体で行っている取り組みを選択して磨きをかける時期だと思う。つなぐ機関として、まちづくり会社が商品を売ったりすることにならないかな、と思う。ウォーキングイベントなどにしても、会社に委託してあげないと収入にならない部分がある。

(事務局)横と手をつなぐには、少ない人数で出来ることは限られているので、皆さんにもご協力をいただきたい。足りない部分は沢山あり、場所は提供するので、是非ご協力いただきたい。

(委員)協議会の枠を超えていると思う。

<まちづくりの方向性>

(委員)選択、集中が必要だ。

(委員)表立っているところを中心に取り組むきっかけを設けることが必要だ。いきなり事を進めるのは、難しい。

(会長)委員さんも提案しているように協議会の取り組みを発信できればと思う。

<その他>

(委員)精神的にも肉体的にも大変な方が増えるので、イベントなどにも若い人に参加してもらえるようにしなくては、参加者が減ってしまうと思う。

(委員)テーマが分かれているので、一通りまとめて書いた。色んなところに情報源を備えて、ある程度情報を容易につかめて、丁寧な情報提供ができればいいなと思う。

(会長)委員さんからは、アンケートも必要ではないかという声をいただいた。私は、松崎のキャッチフレーズを作ってそれに沿って進めることが出来ればと思う。

■いんしゅう鹿野まちづくり協議会視察について

※式次第に沿って説明

■町長と語る会で挙げられた旧Aコープ構想について

(副町長)8 ページに旧Aコープ、新たに建てようと考えている建物の素案を掲載している。これは、今まで協議会で伺った皆様のご意見などを参考に、生涯活躍のまち基本計画の中で素案として作成したものです。新設する物件については、基本設計を依頼している。旧Aコープについては、多目的スペース、カフェ、マルシェ、カラオケ道場などの内容を検討している。協議会で内容についてさらに検討していただければいいが、必要なコンテンツを含むとこのような形になった。新たに建てるものには、総合相談所、お試し住宅を検討している。総合相談所は移住相談、職業相談、鳥取看護大学と連携したまちの保健室を検討している。お試し住宅は、移住の窓口になり、数日住んでもらう場所として考えている。

また、関連するものとして、住まいに関する基本計画での素案です。旧ミドレークホテル跡地をひとつの事例としてここを活用した場合には、サ高住(40戸)や分譲戸建て住宅(80戸)の整備を数年後に、沿道には、直売所などが考えられる。町営住宅が耐用年数を向かえるので、集約すると50戸の建設も考えられる。この周辺の交通手段は今後検討していく予定。H29年度から計画検討をしていく予定だが、そもそも民有地であり、所有者と協議していくこととなる。

(委員)Aコープ跡地はまちづくり会社に委託して運営してもらうのか。

(副町長)町が運営することは難しいので、その結果になると思う。人員は、どのような事業をするのかによっても変わってくる。

(川田)現段階では、今年の秋ごろ着工で冬に完成予定だが、皆さんの中で、Aコープの再建スケジュールのイメージはいかがか。

(委員)せっかく協議会を立ち上げて松崎駅周りのことを一生懸命考えているのに、もうAコープを使うための青写真が役場で作られているというのは納得がいかない。

(事務局)国の補助金も活用しているので、申請に当たりある程度固めていかないと行かなかった。

(委員)補助金を使うことも知っているが、こちらの意向も無しに進めていることがイヤだと思う。

(会長)鳥取県中部では湯梨浜でしかこのような取り組みをしていない。

(事務局)予算とるために先行して動きだす形を取ったが、現状は並行して検討出来ていると思っていただきたい。

(会長)いつまでに協議会でAコープ跡地に関する意見が欲しい、と言っていたかなくては行けない。

(委員)方向性はある程度固まってきたので、いつまでというのを決めていただく方がいい。

(副町長)補助金の期限もあるのでH30.3までに竣工する完成する必要がある。今検討している、冬にオープンするイメージで言うと、4月末までには協議会の意見を出していただくことが望ましい。

(会長)竣工時期が遅れてもじっくり協議会の意見を聞いてもらえるほうが良いと思う。意見を聞くのは協議会だけなのか。

(副町長)今のところ他にも伺う予定などはない。

(会長)語る会などでも取り上げていただいた方が良くと思う。

(委員)月に一度の協議会では意見がまとまらない。鹿野の視察の後にでも、皆で協議したほうがいい。

(事務局)3/8以降、よどやでも活動する。全員集るのは大変なので、個別に来訪いただければ、そこで意見を聞くことも出来る。

(会長)皆で考える場も必要なので、一旦、鹿野の視察の後に30分でも皆で協議する場を設けることにする。

(委員)駐車場がなくなるのか。

(副町長)農協の駐車場と振り替えるが、まだ、提携者とは方向性を詰めていない。

■次回の開催予定

2月27日(月)11:20～ 鹿野町視察、16:30～ 湯梨浜町中央公民館

3月14日(火)19:00～ 湯梨浜町中央公民館

以上